



こんなに違う！ 水道料金

毎日使う水道料金、地域が変わっても、そんなに大差ないと思いませんか？

調べてみると、水道事業を担当する地方公営企業によって、こんなに違うことがわかりました。

一番高いのは「夕張」一番安い「赤穂」と比較すると7.26倍の料金です。水道料金は、使用量、使用道、水道管の口径の大きさなどによって変わっています。

通常は使用水量にかかわらず負担しなければならぬ基本料金に、総使用量に従って負担する従量料金をたして計算されています。

基本料金は、水道事業にかかる費用の大部分が、

安い料金		
順位	地方公共団体	
1	赤穂（兵庫）	1,018 円
2	富士吉田（山梨）	1,212 円
3	秦野（神奈川）	1,300 円
4	黒部（富山）	1,312 円
5	沼津（静岡）	1,510 円
6	富士（静岡）	1,520 円
7	伊豆の国（静岡）	1,589 円
8	都留（山梨）	1,650 円
9	高砂（兵庫）	1,732 円
10	甲賀（滋賀）	1,743 円

高い料金		
順位	地方公共団体	
1	夕張（北海道）	7,392 円
2	多久（佐賀）	7,308 円
3	上天草（熊本）	7,308 円
4	村山（山形）	7,014 円
5	栗原（宮城）	6,814 円
6	武雄（佐賀）	6,722 円
7	深川（北海道）	6,453 円
8	勝浦（千葉）	6,447 円
9	つがる（青森）	6,428 円
10	角田（宮城）	6,310 円

（注）給水管の口径が13ミ、2ヶ月の使用量が48立方メートルの場合の1ヶ月あたり家庭向け水道料金。2006年4月時点、消費税込み。日経全国市区の行政サービス度調査より

浄水場や水道管などの施設のため、それを建設、修繕するための固定的な費用です。

従量料金は、使用量にかかわらず1m³当たりの料金が同額の単一従量料金制と、使用水量が多くなるほど1m³当たりの料金が高くなる消費抑制型と、反対に安くなる需要促進型の設定があります。

ほかに、使用道や、水道管の口径の大きさでも料金が違うようになっています。

使用道で料金に差をつける方式は用途別料金とあります。これは、使用道を一戸建て住宅用、マンション・アパート用、営業用などに分け、それぞれの利用者の負担能力などによって基本料金や従量料金が決まります。

水道管の口径の大きさを料金に差をつける方式

は口径別料金といえます。大きな口径の水道管をつけている利用者は一度に多くの水を使えます。

そこで、口径が大きいほど水道施設の費用を多く負担すべきだと、基本料金や従量料金が高くなっています。

近年、この口径別料金を採用する水道事業者が増えています。

東京では初雪が降らないうちに春一番が吹きました。このまま雪が降らなければ、初雪が観測されないのは130年ぶりのことだそうです。これも地球温暖化の影響なのでしょうが、今後の天候が心配されます。

さて、この時期になると野球好きの人はオープン戦の開幕を楽しみにしていることと思います。サンゴカルシウムの溶け込んだ水は運動量の多いスポーツ選手にもおすすです。というわけで、今年に入ってプロ野球の一軍選手、2人が湧水器を使っています。

球団名は制約があつて書けません。一人は昨年パリーグの優勝チームのベテラン選手T・Yさん、もう一人は在京球団のピッチャーN・Kさんです。

N・Kさんからはサイン色紙もいただきましたので紹介します。

お二人の、今シーズンの活躍を応援したいと思います。

